

地域社会の中で

子どもたちの健全育成を

子どもたちの「生きる力」をはぐくむためには、地域社会の中で学校と家庭が一体となって、それぞれの役割を果たしていくことが大切です。

とくに、さまざまな経験を積み重ねることが子どもたちの感性や社会性を養い、心豊かな人間性を育てることにつながります。

をいただき「つやまっ子・デビュー14」として職場体験を積んでいます。

社会のルールやマナー、お客様へ気配りや思いやりを持って接することを学び、将来明るく住みよい社会をつくっていく一員になれるようがんばっています。

笑顔であいさつを！

市では、中学2年生全員が多くの事業所などの協力を

今年度は、PTAや市民のみなさんの協力を得て、すべての公立幼稚園、小・中学校で「笑顔であいさつを！」の取り組みを展開し

子どもたちの健全育成に
ついてのお問い合わせは、
市教委学校教育課 32
2115へどうぞ。

毎日笑顔であいさつすることは、温かい人間関係づくりの第一歩になります。つやまっ子を地域の中で育てるために、みなさんのご協力をお願いします。

ています。

現在、子どもたちだけでなく、社会全体でコミュニケーション能力の低下や人間関係の希薄化が問題になっています。

平成16年度 人権標語

人権標語が次のとおり決まりました。

<最優秀賞>

小学生の部
その言葉
自分にむかって言えますか
高鳥 恭彰さん (東小学校5年)

中学生の部
持ってるよ
生まれた時から“人権”を
佐藤 緩奈さん
(津山東中学校2年)

<優秀賞>

差別する あなたを見ている
子どもたち (**坂手 弘さん**)
勇気出し 見て見ぬふりは
やめようよ (**向田 遥さん**)
声かけて みんなで守る
みんなの人権 (**仲矢 敦美さん**)
その言葉 悲しむ人が
いませんか (**中西 義士さん**)
人権は みんな平等
うばえない (**宰相 治希さん**)

問い合わせ先
市人権啓発課 ☎32-2048へ

東京通信 40便

津山市東京事務所 03 3592 7955
ホームページ <http://www.city.tsuyama.okayama.jp/tokyo/>

銀座でがんばる 郷土出身者の店

東京一の繁華街「銀座」。そこにあるとんかつ専門店「にし邑」は、郷土出身者、西村義郎さんの店です。米は農家と直接契約するなど食材にこだわりの持ち続け、昼食時間帯は行列ができるほどにぎわっています。



「孫が津山を訪れたことがないので早く連れていってやりたい」と語る西村さん

に一念発起し「にし邑」をオープンしました。「子どものころは、吉井川でよく泳いで遊んでいました。店に同郷の人が来られ、方言を聞くたびに津山を懐かしく思い出します」

店には津山市の観光ポスターが張られ、津山を紹介するパンフレットも置いてあります。今も故郷とのつながりを大切に「にし邑」。近くにお越しのときはぜひ訪ねてみてください。歌舞伎座の出演者もよく利用するそうですよ。

西村さんは市内下紺屋町の出身で、現在57歳。津山商業高等学校を卒業後上京し、アパレル関係の会社に勤めた後、平成11年



母子家庭
研修旅行

とき:10月24日(日) 行き先:NEWレオマワールド 対象:市内の母子寡婦世帯 定員:140人(先着順) 参加費:大人1,000円、子ども(小学生以下)500円 締め切り:10月20日(水) 申込・問い合わせ先:母子会地区役員または市社会福祉事務所(市役所1階1番窓口)☎32-2065へ